

理事長年頭のあいさつ

(1) 新年おめでとうございます。

昨年の経済をふり返ってみますと、アメリカのサブプライムローン問題から始まった国際経済の停滞は依然として続き、その結果海外需要に依存するところが大きい我が国経済もまだ明るさを見せておりません。政府は昨年末、我が国経済はデフレ状況にあるとの認識を発表しましたが、中小企業の状況、雇用と家計収入、またそれに依存する個人消費の伸び悩み等が気になります。

(2) 安定した収益の確保には業容の拡大と体質の強化が重要ですが、新年にあたっていくつかの点をお願いしたいと思います。

業容の一層の拡大を図るために大切なことは、第一に預金の増強です。これについては年金受給口座数の拡大が最も重要です。団塊の世代が大勢お住まいの当地域では年金を受け取られる方も年々増加しています。受取口座を当金庫に指定していただくように努めてください。

第二は融資の増強です。景気の影響もあり企業の資金需要は低調です。融資開拓のための特別チームをつくる等努力を重ねていますが、個人の住宅ローンや消費者ローン等既存融資の当金庫への借換えも含めて推進する必要があります。

また新年を迎えてあらためて強調しておきたいのは、お客様や地域との結びつきを一層強化することです。当金庫の営業地域のようにメガバンク等の金融機関の店舗がひしめいているところでは、常に努力して当金庫がお客様にとって必要でまたお役に立つ存在であることを認めていただく必要があります。最近の中小企業金融円滑化法では適切な経営相談・経営指導等コンサルティング機能の発揮が求められています。お客様からの相談に真摯に取り組み、対応していくことが地元金融機関としての存在感を高めることとなります。

先にお話しした預金や融資に限らず金融に関するあらゆることが対象になります。金融全般に関してまず当金庫に相談していただけるようにしたいものです。

(3) 今年も当金庫はお客様本位の堅実な歩みを続けていきます。今年が良い年であることを祈念し、皆様のご活躍を期待して私の挨拶とします。

たしかな明日のお手伝い



神奈川・東京に60店舗